



学校と地域をつなぐ



社会教育主事通信
～えにし～

松江市教育委員会
生涯学習課・学校教育課

2026/7/10(金) 第3号

地域と学校が連携・協働をめざす 地域学校協働本部、コミュニティ・スクール連絡協議会を開催！

地域と学校の連携・協働体制の在り方について、一緒に考えを深める機会となるように「地域学校協働本部連絡協議会」兼「コミュニティ・スクール連絡協議会」を開催しました。

鹿島ふれあい学園から鹿島中学校の福本校長による事例紹介や文部科学省CSマイスター（コミュニティ・スクール推進員）の西祐樹氏の「コミュニティ・スクールと地域学校協働本部は何で必要なん？」と題しての講話、学園ごとの関係者によるグループ協議を行いました。

参加者からは、「鹿島でこどもを育てるという言葉が印象的、学校と地域が未来を作るという認識が深まった」「こどもと地域の出会い、対話を増やす必要性を感じた」「キャリア意識、協調性、コミュニケーション能力など社会で必要な力を地域で育てる重要性を再認識できた」等の感想がありました。また、「働き方改革との関係性にも触れてほしい」「各校区の課題ごとに応じたワークショップ形式が望ましい」「運営面の改善（休憩・駐車場・オンライン環境）が必要」といった意見もありました。

この会議で話し合われたことが、学校運営協議会と地域学校協働本部の具体的な取組につながっていくように支援していきたいと思います。



家庭教育支援の取組①

親楽の様子を紹介します！

家庭教育支援の取組として平成24年から実施しているこの親楽プログラムも年々幼・保育施設や小学校で実施回数が増えてきて、親同士の関りを大切にしながら子育てについての気づきや学びを育ませていっています。今年度は6月に3会場で親楽を実施しましたので、その様子をお伝えします。



御津保育所

「親のしつけはこどもへの大切な贈り物」
(カードワーク)



わらべのその

「私のほめ方しかり方」(ロールプレイ)
「あったか言葉が宝物」(カードワーク)



母衣幼稚園

「私のほめ方しかり方」(ロールプレイ)

家庭教育支援の取組②

親学(楽)ファシリテーター養成講座

6月27日(土) 東出雲公民館(ヨリアイーナ東出雲)にて標記の講座を実施しました。年2回開催のこの講座の1回目は、安来市と共催し、松江市から8名、安来市から2名の参加がありました。

午前中は「親学」について体験や講義で確認し、午後はとことん演習を重ねて「親学ファシリテーター」としてのスキルを磨いていきました。

ファシリテーターとして大事なタイムマネジメントと雰囲気作りは、受講者の個性がそれぞれに出ていて大変興味深かったです。また、受講者同士だけでなく講座のスタッフや支援者との関係づくりにもなり、大変有意義な一日になったと実感しました。

【受講者の感想】

- ・人とのつながりが大切だと思った研修でした。また、「正解はない」という姿勢が良い雰囲気を作っているなと思いました。またご縁がありましたら参加していきたいです。
- ・みなさん良い方ばかりで楽しく学べました。再受講しましたが、改めての気づきがあり、良い一日になりました。
- ・誘ってもらって参加させていただきましたが、自分から進んで参加するにはハードルが高くて難しそうと思っていました。参加してみてとてもよかったですし、自分にできることはまたしてみたいと思いました。
- ・松江市としてこのような取組があることをこれまで全く知りませんでした。素晴らしい取組だと思えます。色々な場面で親学プログラムが活用されることを希望します。

今後松江市では、10月4日(日)に2回目の養成講座を予定しています。興味関心のある方は、是非お気軽にお問い合わせください。案内チラシは8月頃ホームページにアップします。



お問い合わせ先

生涯学習課(川神 拓人)

TEL 55-5288

FAX 55-5251

E-mail: s-kikaku@city.matsue.lg.jp



学校教育課

学び推進係(富谷 衡)

TEL 55-5341

FAX 55-5251

E-mail: manabi@city.matsue.lg.jp



バックナンバーは
こちらから